

平成27年度 南魚沼市国語部 活動報告

部長 早川 政宏

1 研究主題

「言語活動を支えるコミュニケーション力の育成」

2 研究の概要

「言語活動の充実」はコミュニケーションの力と深くかかわっている。言語活動の充実とコミュニケーション力の育成について、両者がどのようにかかわっているのか、それぞれの力をどう育てていけばよいのか、南魚沼の児童の実態と照らし合わせ、実践研究を進めてきた。

今年度は、国語科を含めた幅広い活動の中から、言語活動の充実とコミュニケーション力の育成を図る上で有効な指導法や活動に触れ、教師自身の体験をもとにその有効性を探ってきた。

3 研究の実際

(1) 国語部会および推進委員会の開催

南魚沼市(塩沢地区、六日町地区、大和地区)および湯沢町の4地区の推進委員が中心となって研修計画を立案し、実践する。

(2) 研修講座(南魚沼市学習指導センター)への参加

充実した研修講座等に積極的に参加し、会員および会員相互の実践研究に役立てる。

<参加者からの報告>

「論理的思考力を育てる国語科アクティブラーニング」(期日：8月11日、会場：大和庁舎)

上越教育大学准教授の佐藤多佳子先生を講師にお招きしての講演であった。アクティブラーニングのポイントとして、十分な教材分析に基づく課題づくり、対話のある学習、振り返りを取り入れた授業づくりが大切とのことだった。

後半は中学校区ごとに集まり、全国学力テストの結果を踏まえた意見交換を行った。国語科の担当者が国語科に特化した内容で話し合う機会は、普段あまりないので大変有意義であった。

(3) 国語部主催の実践研修会の実施

① 「劇あそび・言葉あそびを体験してみよう(参加型ワークショップ)」(期日：8月20日、会場：サンライズ南魚沼)

市内で活動している読み聞かせサークル「たんぼほくらぶ」の木村義隆様を講師に迎え、木村先生が実際に各校で行っている「劇あそび・言葉あそび」を体験してみた。簡単なルールの下で言葉を集めたり、ペアでの言葉あそびをしたりしながら、言葉の面白さや表現することの楽しさを実感することができた。



② 小・中学校合同書写指導講習会(期日：11月27日、会場：サンライズ南魚沼)



南魚沼で10年以上続いている国語部主催の伝統ある研修会である。新年に行われる各種書き初め大会に向け、その指導のポイントを講師の上村唯芳先生から一人一人がアドバイスを頂きながらその腕を磨いた。

また、同じ学年を担当している者同士で、子供達への指導のポイントや準備・後始末の仕方について話し合う等、会員相互の交流も深めることができた。

4 成果と課題

今年度の主催研修「劇あそび・言葉あそび」からは、言葉のおもしろさを通して子供達のもっているコミュニケーション能力を引き出し、表現をより豊かにしていくための具体的な手法を学ぶことができた。今後は、授業の中で子供同士の「かかわり合う活動」を通じた言語活動の充実とコミュニケーション力の育成について研修を深めていきたい。